

伊豆の国市環境基本計画



伊豆の国市はエコアクション21の
認証を取得しています。
【認証・登録番号 0004233】

平成26年4月

伊豆の国市

はじめに

伊豆の国市は、南北に天城連山に源を有する水量豊富な狩野川が流れ、豊かな田園地帯が広がり、また、周囲は箱根山系の山々や、葛城山、城山などの豊かな緑に囲まれるなど、自然に恵まれた街並みを形成しています。また、湯量豊富な温泉資源に恵まれた温泉場が市内に点在し、肥沃な土壌でつくられたイチゴやコメなどの農作物とともに、今も貴重な資源、財産として先人から大切に受け継がれています。

他方、昨今の社会経済の変化には著しいものがあり、生活の中で富裕や利便性を求めた結果、環境に対して大きな負荷を与えることとなり、地球規模で深刻な問題となっております。

この自然豊かな環境と、先人達たちが知恵と努力により築いた貴重な資源、財産を保全し、また、未来の世代に継承していくことは、私たちの大きな責務ととらえ、ここに「伊豆の国市環境基本計画」を策定いたしました。

この計画書の策定にあたっては、平成 25 年 3 月に施行した「伊豆の国市環境基本条例」に基づき、市民の代表 9 名で組織する「伊豆の国市環境審議会」を立ち上げ、市民アンケートやパブリックコメントなどによる市民の皆様から寄せられた意見、提案も参考にして、計画案を作成していただきました。

近年の環境問題では、特に都市化の進展や IT などの技術の普及による市民のライフスタイルの変化や事業活動の多様化により、対応が困難なものも少なくありません。この複雑化する環境問題を解決するためには、市民、事業者、行政が一体となった取り組みが必要不可欠との認識から、それぞれがどのような行動をとったら良いのかという具体的な取り組みも計画の中に示しております。

本計画の中に掲げている「望ましい環境像」の実現に向けて、また、何よりかけがえのないふるさと伊豆の国で起こっている環境問題の解決に向けて、市民や事業者の皆様のご協力をいただきながら、今後も様々な環境施策の展開を図ってまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提案をいただきました市民の皆様をはじめ、様々な角度から熱心にご議論いただきました「伊豆の国市環境審議会」委員の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、良好な環境の保全、創出のため、市民、事業者の皆様のお一人層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成 26 年 4 月



伊豆の国市長 小野 登志子

目 次

	Page
第1章 計画の基本的事項	1
第1節 計画策定の背景	2
第2節 計画の目的・位置付け	4
第3節 計画の対象	5
第4節 計画の期間	5
第5節 計画の構成	6
第2章 環境の現状	7
第1節 市の概況	8
1 市の位置・沿革	8
2 人口・世帯数	9
3 産業	10
4 気候・地形	12
5 土地利用	13
6 法による指定状況など	14
第2節 生活環境の現状と課題	15
1 大気・悪臭・騒音・振動	15
2 水質	16
3 化学物質・放射性物質・公害への苦情	17
第3節 自然共生社会の現状と課題	18
1 河川・水資源	18
2 森林・農地	19
3 動植物	20
4 自然とのふれあい	24
第4節 循環型社会の現状と課題	26
1 廃棄物の減量・再資源化・適正処理	26
2 環境美化・不法投棄	29
第5節 低炭素社会の現状と課題	30
1 地球温暖化	30
2 省エネルギー・再生可能エネルギー	31
3 低炭素都市	33
第6節 環境教育等	35
1 環境教育・環境学習	35
2 環境情報・環境保全活動	36
第3章 計画の目標	37
第1節 望ましい環境像	38
第2節 基本理念	40
第3節 基本方針	41
第4章 取り組みの推進	43
第1節 施策の体系	44
第2節 安全・安心な生活環境の保全に向けて	46
1 大気・悪臭・騒音・振動	46

2	水質	48
3	化学物質・放射性物質・公害への苦情	50
第3節	自然共生社会の実現に向けて	52
1	河川・水資源	52
2	森林・農地	54
3	動植物	56
4	自然とのふれあい	58
第4節	循環型社会の実現に向けて	60
1	廃棄物の減量・再資源化・適正処理	60
2	環境美化・不法投棄	64
第5節	低炭素社会の実現に向けて	66
1	地球温暖化	66
2	省エネルギー・再生可能エネルギー	68
3	低炭素都市	72
第6節	環境教育等の展開に向けて	74
1	環境教育・環境学習	74
2	環境情報・環境保全活動	76
第5章	地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）	79
第1節	地球温暖化問題について	80
1	地球温暖化問題のしくみと影響	80
2	地球温暖化防止に向けた動向	84
第2節	計画に関する基本的な事項	86
1	計画の対象、計画期間	86
2	温室効果ガス排出量の推計方法	88
第3節	温室効果ガス排出量	89
1	現況推計	89
2	将来予測	92
3	削減目標	93
第4節	温室効果ガス削減のための取り組み	94
1	家庭や事業所での省エネルギーの推進	96
2	再生可能エネルギーの導入推進	98
3	移動手段の低炭素化	100
4	森林と農地の保全	102
第6章	計画推進のしくみ	105
第1節	計画の推進体制	106
第2節	計画の進行管理	107
資料編		109